

Ⅱ 未来の社会の創り手となる資質・能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進

① 確かな学力の育成

- 児童生徒の学力・学習状況を鹿児島学力・学習状況調査などの客観的な調査に基づき的確に把握し、本県の実態に応じた学力向上策を推進します。
- 学力向上に向けて児童生徒の基礎的・基本的な知識及び技能と思考力、判断力、表現力等、主体的に学習に取り組む態度を育成する観点から、学習者が主体となる「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進します。
- 児童生徒の学力と教員の指導力の向上を図る取組を推進するとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組を推進します。
- 教科等固有の見方・考え方を働かせて自分で考え表現する力、困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力や自己肯定感などの、いわゆる非認知能力も含めて、時代を切り拓く児童生徒に求められる資質能力を育成するため、学校全体で学力向上に向け組織的に取り組むなど、学力向上のPDCAサイクルの充実にに向けた取組を推進します。
- 学校段階間・学校種間及び学校と社会との連携・接続を図りつつ、各学校段階を通じ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等の確かな学力の育成、幅広い知識と教養、専門的能力、職業実践力の育成を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○「学習者主体の授業」への改善推進事業	7,227	義務教育課
○新時代の「確かな学力」育成推進事業	37,442	〃
▶ 鹿児島学力・学習状況調査の実施		
○「新たな教職員の学び」協働開発推進事業	2,000	〃
○ICT教育推進・人材育成事業(再掲)→p.46	27,482	教育DX推進室
○世界をつなぐ英語コミュニケーション能力育成事業(再掲)→p.48	2,283	高校教育課
▶ English Cafe in Kagoshimaの実施		
▶ 高校生イングリッシュトレーニングキャンプの実施		
○教室から世界へ!かごしまグローバルクラスルーム事業 (再掲)→p.48	19,544	高校・義務教育課
○世界で輝け!英語コミュニケーション能力育成事業 (再掲)→p.48	2,486	義務教育課
▶ イングリッシュ・デイの実施		
○未来を創る資質・能力育成事業	7,539	高校教育課
○グローバル人材育成促進事業(再掲)→p.48	4,800	〃
○家庭学習マイゴールチャレンジの推進	-	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 74講座 1,233人	8,564	〃
○県総合教育センター調査研究事業	1,049	〃
○「かごしまっ子」すくすくプラン	263,813	教職員課
▶ 義務教育の入門期において、きめ細かな指導を行い、基本的な生活習慣や学習習慣の定着を図るため、小学校1年生及び2年生で30人学級を実施		
○少人数指導等の充実	-	〃
▶ 少人数指導や習熟度別指導など、きめ細かな指導を行う学校の取組に対して教員を配置		
○小学校における教科担任制の推進	-	〃
▶ 教科担任制の効果的な実施方法等について、研究を行う学校の取組に対して教員を配置		

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○中学校免許外教科担任解消事業 ▶ 中学校において、免許教科外で授業を担当する教科担任の解消を図るため、非常勤講師を配置	65,542	教職員課
施策予算額計	449,771	

○ 「学習者主体の授業」への改善推進事業

(7,227千円)

「学習者主体の授業」の実現に向けた授業改善を通し、児童生徒の主体性、協働性、創造性等を育成するため、組織的かつ総合的に確かな学力の育成に向けた取組を推進する。

- ▶ 「学習者主体の授業」実現プロジェクトの実施
- ▶ 授業改善及び学校のPDCAサイクル確立に向けた取組
- ▶ 学び続ける教師の手引書「学びの羅針盤」の活用促進



○ 新時代の「確かな学力」育成推進事業

(37,442千円)

社会の変化が激しく予測困難な時代に、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、児童生徒に一人一人の能力や適性等に応じて、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を身に付けさせることで、児童生徒が新しい時代を切り拓くための「確かな学力」を育成することを目指す。

- ▶ 鹿児島学力・学習状況調査の実施
- ▶ CBT問題研究委員会の実施
- ▶ 英語担当教員の指導力向上プログラムの実施
- ▶ 家庭学習マイゴールチャレンジの推進



○ 未来を創る資質・能力育成事業

(7,539千円)

令和の教育改革の理念に基づき、社会の変化を乗り越え、未来の社会の創り手となる生徒の資質・能力の確実な育成を目指す。研究指定校や研究推進員と授業改善の研究、科学技術コンソーシアムの創設と構築、高校生探究コンテスト開催をとおして、教員の指導力や総合的な探究の時間の質の向上を推進する。

- ▶ 学びの深化プログラム
- ▶ 探究の真価プログラム



① 確かな学力の育成（義務教育課・高校教育課・教職員課・教育DX推進室）

【令和8年度予算額 449,771千円】

学習者が主体となる「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図り、児童生徒の基礎的・基本的な知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、主体的に学習に取り組む態度を育成する教育の推進



小・中学校

校種間の連携

県立高校

- 「学習者主体の授業」への改善推進事業
- 新時代の「確かな学力」育成推進事業
- 世界で輝け！英語コミュニケーション能力育成事業
- 教室から世界へ！かごしまグローバルクラスルーム事業
- 「新たな教職員の学び」協働開発推進事業
- ICT教育推進・人材育成事業

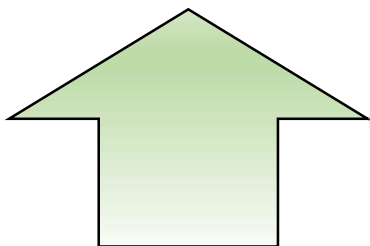
- 世界をつなぐ英語コミュニケーション能力育成事業
- 未来を創る資質・能力育成推進事業
- 教室から世界へ！かごしまグローバルクラスルーム事業
- ICT教育推進・人材育成事業

○県総合教育センター ・ 研修事業(短期) ・ 調査研究事業

○「かごしまっ子」すくすくプラン ○少人数指導の充実 ○中学校免許外教科担任解消事業

学習指導要領
の確実な実施

児童生徒の実態や
課題への対応



施策の
方向性

教員の指導法
の改善・指導力の
向上

基礎的・基本的な知識
及び技能の活用や問題解決
的な学習等の推進

児童生徒の学力
学習状況の的確な
把握

ICTの効果的な利活用

② 特別支援教育の推進

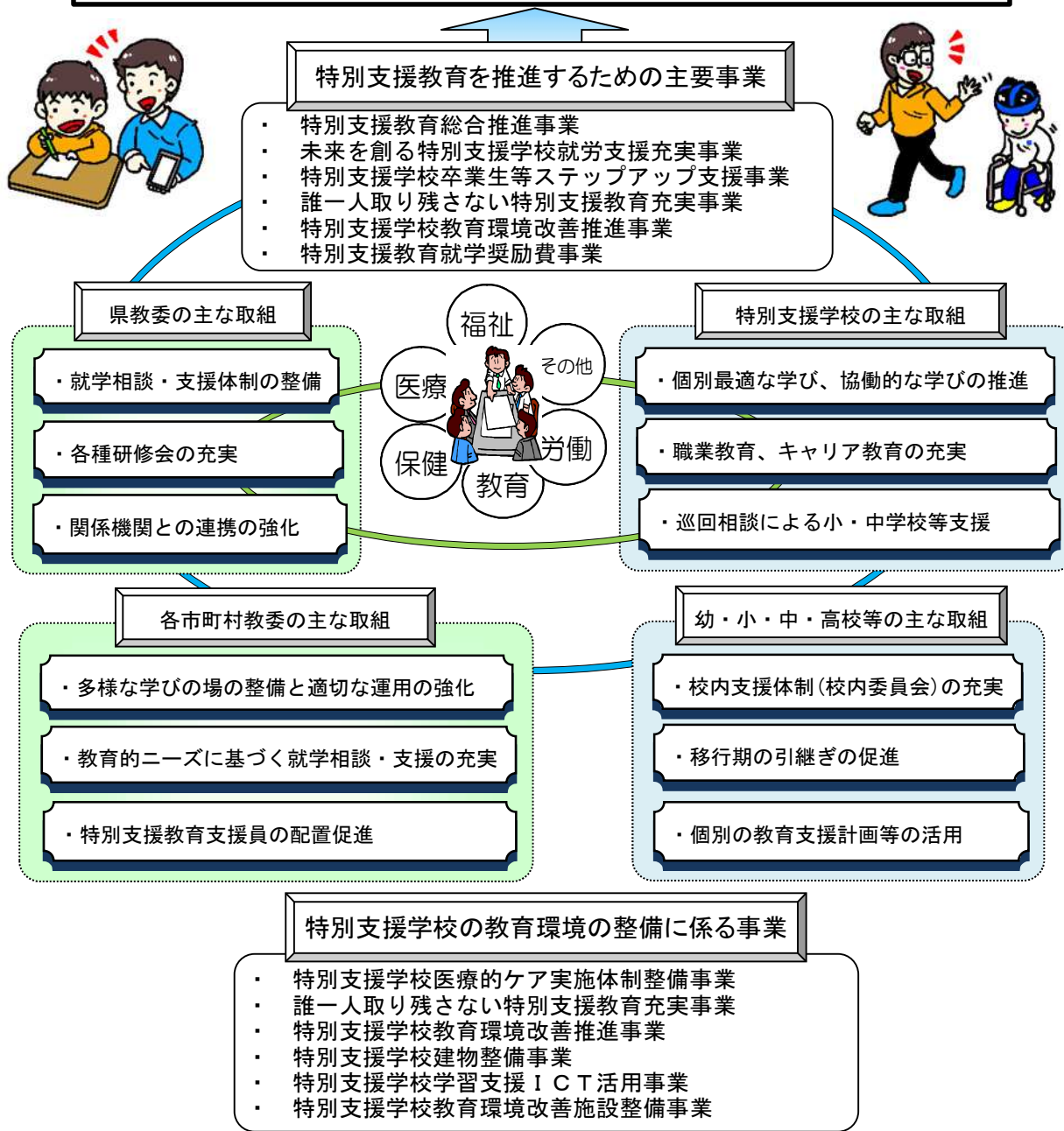
- 障害のある幼児児童生徒に対する正しい理解と認識を図るとともに、相談・支援体制の更なる充実に努めます。
- 多様で柔軟な学びの場を整備するとともに、障害の状態等に応じて適切な指導や必要な支援を受けることができるよう、一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援の一層の充実に努めます。
- 特別な支援が必要な児童生徒を支える校内支援体制、地域支援体制の更なる向上を図ります。
- 県内の全教員等がそれぞれのキャリアステージに応じて特別支援教育に関する知識等を十分に身に付けることができるよう、研修推進体制の充実に努めます。
- 医療的ケア児及びその家族に対する支援の充実に努めるとともに、医療的ケア児等支援センターをはじめとする、医療、福祉、保健等の関係機関と一層の連携を図ります。
- 本県の地理的特色を踏まえた多様な学びの場の整備に努めます。
- 特別支援学校においては、幼児児童生徒の障害特性や教育的ニーズ等に応じた指導・支援の一層の充実に努めるための教職員の専門性の向上やタブレット端末等の支援機器等の整備、分置に向けた取組の推進に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○全ての学校における特別支援教育の推進 ▶ 交流及び共同学習の積極的推進 ▶ 個別の指導計画等の活用による校内支援体制の充実 ▶ 基礎的環境整備の推進及び適切な合理的配慮の提供 ▶ 特別支援教育支援員の配置の促進 ▶ 高等学校における通級による指導の促進 8校 10人	—	特別支援教育課
☑特別支援教育総合推進事業 ▶ 県立高校における特別支援教育支援員の配置 10校 10人	40,616	〃
○未来を創る特別支援学校就労支援充実事業 ▶ 特別支援学校技能検定の実施 ▶ 各学校での就労ネットワーク会議の開催 ▶ 就労支援コーディネーターの配置	2,926	〃
○特別支援学校医療的ケア実施体制整備事業 ▶ 特別支援学校における非常勤看護師の配置 12校 41人 ▶ 教員等を対象とした「たん」の吸引等研修会 ▶ 看護師を対象とした専門性向上研修会 ▶ 特別支援学校における医療的ケアに関する運営協議会	152,807	〃
☑特別支援学校卒業生等ステップアップ支援事業	20,264	〃
○誰一人取り残さない特別支援教育充実事業 ▶ 医療的ケア児通学支援モデル事業 ▶ 巡回型通級指導教室開設のためのモデル事業 ▶ 離島における特別支援教育充実事業	17,670	〃
○特別支援学校教育環境改善推進事業	336	〃
○特別支援教育就学奨励費事業 ▶ 保護者等の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学に必要な経費を補助	326,697	〃
○教員経験年次別等研修事業(再掲)→p. 66 ▶ 訪問教育等担当教員研修会 ▶ 特別支援学級等新任担当教員研修会	45,217	義務・高校教育課 特別支援教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 25講座 436人	8,564	義務教育課
○特別支援学校学習支援ICT活用事業(再掲)→p. 46	32,206	教育DX推進室
○特別支援学校パソコン整備事業(再掲)→p. 46	4,000	〃
○特別支援学校指導者用コンピュータ配備事業(再掲)→p. 46	22,081	〃
○特別支援学校建物整備事業(再掲)→p. 69	1,268,320	学校施設課
○特別支援学校教育環境改善施設整備事業(再掲)→p. 69	1,833,495	〃
○特別支援学校施設整備管理運営事業(再掲)→p. 69 ▶ 施設整備に併せて必要となる備品や附帯設備の移設等	2,048	〃
○特別支援学校管理運営事業 ▶ 教材備品等及び特別支援教育に必要な設備の整備	23,514	〃
施策予算額計	3,800,761	

② 特別支援教育の推進（特別支援教育課・義務教育課・高校教育課・教育DX推進室・学校施設課）

【令和8年度予算額 3,800,761千円】

特別な支援の必要な子ども一人一人の教育的ニーズに応える適切な指導及び必要な支援の充実、一貫した支援体制の整備



【主な事業】

- 誰一人取り残さない特別支援教育充実事業(17,670千円)
 特別な支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できるように、多様な学びの場の充実を図るとともに、保護者への支援や本県の地理的特色に応じた広域的な特別支援教育体制の整備を行う。
 - ▶ 医療的ケア児通学支援モデル事業
 - ▶ 巡回型通級指導教室開設のためのモデル事業
 - ▶ 離島における特別支援教育充実事業



③ キャリア教育の推進

- 発達の段階に応じた体系的・系統的なキャリア教育を、学校の教育活動全体を通じて推進し、「キャリア・パスポート」等を活用し、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会を構成する一員として自分らしい生き方を実現していくキャリア発達を促進します。
- 子供たちが自分の生き方、働き方について考え、勤労観や職業観を自ら育み、自己実現を図るためのキャリア教育の充実に努めます。
- 社会的・職業的自立に向けて必要となる基礎的・汎用的な能力の更なる育成を図り、多様化する生き方に対応します。
- キャリア教育に関する教員の研修を充実させ、指導力の向上を図ります。
- 勤労観・職業観等を育成するため、企業や経済団体など関係機関との連携の更なる強化を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
拡 かごしま次世代キャリア創造推進事業	27,847	高校教育課
○未来を拓くキャリア教育推進事業	—	〃
○郷土教育推進事業(再掲)→p. 43		
▶地域を担う次世代人材育成プロジェクト	3,312	〃
▶かごしまの産学連携プログラム「アカデミック・インターンシップ」推進事業	2,045	〃
○かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業(再掲)→p. 39	5,931	〃
○中学生の職場体験学習の継続的な推進	—	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 2講座 65人	8,564	〃
○未来を創る特別支援学校就労支援充実事業(再掲)→p. 35	2,926	特別支援教育課
施策予算額計	50,625	

【主な事業】

拡 かがしま次世代キャリア創造推進事業 (27,847千円)
 高校生のキャリア形成や県内就職を含む進路選択を支援するため、高校教育課及び県立高校に配置しているキャリアガイダンススタッフによる就職支援を充実させ、これまで主な対象としていた3年生に加え、1・2年生の早期段階から、地域産業と連携した実践的なキャリア教育を推進するとともに、生徒一人一人の適性や希望に応じた進路支援体制を整備する。



○ かがしまの産学連携プログラム「アカデミック・インターンシップ」推進事業 (2,045千円)
 大学や企業等の魅力を発見させ、鹿児島で働くことや暮らすことへの意識を醸成するため、産学連携の取組を実践している県内企業や大学等で講演会、インターンシップ等を実施する。



③ キャリア教育の推進（高校教育課・義務教育課・特別支援教育課）

【令和8年度予算額 50,625千円】

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成
（自分らしい生き方を実現していくキャリア発達の促進、ウェルビーイングの向上）

キャリア教育

高校

将来の社会参画を具体的に見据えて、自己の在り方や生き方を考え、その実現に向け必要な能力や態度を育成する。

- 【未来を拓くキャリア教育推進事業】
- ・キャリア形成のための学校への講師派遣事業
 - ・中・高校生のインターンシップ事業
- 【かごしま次世代キャリア創造推進事業】
- 【特別活動、総合的な探究の時間、各教科等】

中学校

将来の生き方・働き方について考え、目的意識をもって進路選択を行い、実現しようとする能力や態度を育成する。

- 【未来を拓くキャリア教育推進事業】
- ・キャリア形成のための学校への講師派遣事業
 - ・中・高校生のインターンシップ事業
- 【特別活動、各教科、道徳科、総合的な学習の時間】

小学校

夢や希望をもち、目標に向けて努力する態度を育成する。

- 【未来を拓くキャリア教育推進事業】
- ・キャリア形成のための学校への講師派遣事業
- 【特別活動、各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間】

連携協力

情報提供

連携協力

情報提供

家庭・保護者の教育力

- （役割）
- ・児童生徒の成長・発達を支える重要な場
 - ・職業生活の実際ややりがいを感じさせる
 - ・学校と連携し、キャリア教育を実践する

地域・企業・関係機関の教育力

- 県内経済7団体
（県商工会議所連合会
経済同友会 等）
- 公共職業安定所
- 商工労働水産部
- 県総合教育センター
（地域社会の役割）
・企業からの講師派遣
- ・インターンシップ、職業体験の理解と受け入れ
- ・情報交換会等

※発達段階に応じた体系的な実施
※基礎的・汎用的能力の育成を中心とした様々な教育活動

「精神的・社会的自立が遅れる傾向」や「勤労観・職業観の未熟さ」など発達上の課題



- ・雇用形態の多様化・流動化
- ・学校から職業への移行に問題を抱える若者の増加 等

④ 産業教育の推進

- 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を育成します。
- インターンシップなどの職業教育や地域と連携した探究活動等を通じて、地域や産業界の声を聞くとともに、産業界と高等学校とが一体となって、地域を支える最先端の職業人の育成を行います。
- グローバル化する社会の持続的な発展に向けて、常に学び続ける人材の育成に努めます。
- 急激な社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神（アントレプレナーシップ）を備えた人材の育成を図ります。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○県産業教育審議会の提言を基にした各専門高校の取組の推進	—	高校教育課
○生徒の専門性の高い技術の習得や高度な職業資格・検定の取得推進	—	〃
○専門高校活性化のための関係機関との連携	—	〃
○郷土教育推進事業(再掲)→p. 43		
▶ 地域を担う次世代人材育成プロジェクト	3,312	〃
▶かごしまの産学連携プログラム「アカデミック・インターンシップ」推進事業	2,045	〃
○地区専門高校フェスタ	—	〃
○ かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業	5,931	〃
☑かごしま次世代キャリア創造推進事業(再掲)→p. 37	27,847	〃
○未来を拓くキャリア教育推進事業(再掲)→p. 37	—	〃
○県立高校パソコン整備事業(再掲)→p. 46	121,478	教育DX推進室
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 1講座 10人	8,564	義務教育課
○産業教育施設整備事業	207,500	学校施設課
▶実習施設の改修等 2校		
○産業教育設備整備事業	109,385	〃
▶産業教育のための実験・実習設備の整備等(更新を含む) 20校		
☑ 新 実習船「拓青」代船建造事業	7,172	〃
施策予算額計	493,234	

【主な事業】

- **地域を担う次世代人材育成プロジェクト**
(3,312千円)
地域を担う次世代人材を育成するため、地域と連携・協働して地域を題材とした探究的な学びや、実践的な専門的職業人材育成を推進する。



- **かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業**
(5,931千円)
視野の広い農業の担い手を育成するため、農業高校生を対象とした国内外での現地研修や、農業教員を対象とした技術及び指導力向上研修等を実施する。



④ 産業教育の推進（高校教育課・義務教育課・学校施設課・教育DX推進室）

【令和8年度予算額 493,234 千円】

専門高校の活性化と産業教育の充実

- 1 県産業教育審議会の提言の具体化
- 2 地域の産業社会と連携した職業人材の育成
- 3 専門高校や専門学科の主体的な地域連携や特色ある教育活動の充実
- 4 農業従事者の確保・育成の充実

産業教育の充実

- 1 産業教育審議会
 - 産業教育に関する教育の内容及び方法の改善等について調査審議する。
 - 委員は産業界、学識者、国行政等から選出された15人で構成

- 2 地区専門高校フェスタ
 - 県内5地区で実施
【鹿児島・日置、南薩、北薩、始良・伊佐、大隅】
 - 専門高校の魅力を地域に紹介し、小・中学生の進路選択の意識を高める。
 - 【主催】県産業教育振興会

- 3 施設設備の充実
 - 産業教育施設整備事業
 - 産業教育設備整備事業
 - 県立高校パソコン整備事業
 - 実習船「拓青」代船建造事業

専門高校の活性化

- 1 かごしまの食と農を未来につなぐ農業教育推進事業
 - 農業高校生の海外研修
 - 農業教員のアグリテックマイスター研修
 - 農業教員のフードテックマイスター研修
 - 農業高校生のコラボレーションチャレンジ
 - 農業高校生のアグリビジネス視察研修
 - 農業高校の農産物ブランド化プロジェクト

- 2 郷土教育推進事業
 - 地域を担う次世代人材育成プロジェクト

- 3 教職員研修事業
 - 専門研修（短期研修）
 - 課題研修（長期研修・継続研修）

【連携先】

- 関係行政機関 ○県内各経済団体、企業等
- 小・中学校、短大、大学、研究機関等 ○各教科教育研究会

施策の方向性

- 産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度の育成
- 産業界と高等学校が一体となった地域を支える最先端の職業人の育成
- グローバル化する社会の持続的な発展に向けて、常に学び続ける人材の育成
- 新たな価値を生み出していく精神を備えた人材の育成

⑤ 幼児教育の充実

- 幼稚園等において、小学校以降の教育を見通し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、その土台となる、非認知能力を含む学びに向かう力、知識及び技能の基礎、思考力・判断力・表現力等の基礎を育成することができるよう、関係部局との連携を密にし、幼児教育全体の質の向上に努めます。
- 特別な配慮を必要とする子供を含む全ての子供のウェルビーイングを高めるという観点から、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、遊びを通して育まれる「自立心」や「協同性」などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼稚園等と小学校等が連携・協働した取組の一層の推進を図ります。
- 幼稚園等、家庭、地域の連携により、幼稚園等を活用した子育ての支援に係る取組を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○幼児教育の充実 ▶ 幼稚園新規採用教員研修事業 ▶園長等運営管理協議会 ▶幼稚園・小学校教育課程研究協議会 ▶保育技術協議会	2,457	義務教育課
○幼稚園中堅教諭等資質向上研修 園内8日 園外7日	—	〃
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 1講座 10人	8,564	〃
○施設型給付費	18,082,233	※子育て支援課
○子ども・子育て支援総合対策事業	716,947	〃
○子ども・子育て総合推進事業 ▶鹿児島県子ども・子育て支援会議の運営等	1,092	※子ども政策課
○ 幼児教育センター設置運営事業	12,164	※子育て支援課
施策予算額計	18,823,457	

【主な事業】

- **幼稚園新規採用教員研修事業(2,457千円)**
幼稚園教諭の新任者に対し、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施する。
 - ▶幼稚園新規採用教員研修の実施(園内11日,園外6日)
 - ▶「研修の手引」の作成(新任教員用・研修指導員用)
 - ▶幼稚園新規採用教員研修運営協議会

- **幼児教育センター設置運営事業(12,164千円)**
幼児教育・保育の質の向上を図るため、幼児教育センター・幼児教育アドバイザーを設置し、幼児教育アドバイザーによる幼稚園等への訪問助言等を行う。
 - ▶幼児教育センターの4つの機能
 - ① 研修
 - ② 助言
 - ③ 幼保小接続
 - ④ 情報発信

⑤ 幼児教育の充実（義務教育課・子育て支援課・子ども政策課）

【令和8年度予算額 18,823,457千円】

幼 児 教 育 の 充 実

- 幼児教育の質の向上
- 幼稚園等を活用した子育て支援に係る取組の推進

- | | |
|---|--|
| <p>1 幼児教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・ 幼稚園新規採用教員研修・ 研修の手引作成・ 幼稚園新規採用教員研修運営協議会（幼稚園新規採用教員研修実施要項研修計画等）・ 園長等運営管理協議会・ 幼稚園・小学校教育課程研究協議会・ 保育技術協議会 | <p>2 幼稚園中堅教諭等資質向上研修</p> <p>3 県総合教育センター研修事業</p> <p>4 子ども・子育て支援総合対策事業</p> <p>5 子ども・子育て総合推進事業</p> <p>6 幼児教育センター設置運営事業</p> |
|---|--|

義務教育課・県総合教育センター

- ・ 幼稚園新規採用教員研修の企画、実施、運営及び研修の手引作成
- ・ 幼稚園中堅教員等資質向上研修の企画、実施、運営
- ・ 幼児教育短期研修講座の企画、実施、運営
- ・ 幼稚園・小学校教育課程研究協議会、園長等管理運営協議会及び保育技術協議会の企画、実施、運営

子育て支援課・子ども政策課

- ・ 幼保連携型認定こども園保育教諭研修の企画、実施、運営
- ・ 幼稚園新規採用教員研修の運営協力
- ・ 施設型給付費
- ・ 子ども・子育て支援総合対策事業
- ・ 子ども・子育て総合推進事業
- ・ 幼児教育センター設置運営事業

連携・協力

幼稚園

認 定
こども園

保育所

⑥ 郷土教育の推進

- 各学校において、郷土芸能や伝統産業を体験する活動や先人の業績や生き方について学ぶ活動などの充実を図り、鹿児島県の魅力を伝えることができる人材の育成に努めます。
- 我が国や郷土の伝統や文化を受け止め、日本人としての美徳やよさを生かし、それらを継承・発展させるための教育を推進します。
- 地域行事への参加など、地域の中で児童生徒を育成する素地を生かすとともに、青少年社会教育施設や地域の歴史民俗資料館などの利用促進なども含め、郷土教育の推進を図ります。
- 郷土に誇りをもち、未来を担う子供たちを育てるために、教職員が鹿児島県の地理、歴史、伝統、文化、豊かな自然等についての理解を深め、教育実践がなされるよう、郷土教育に関する教職員の資質の向上を図ります。
- 鹿児島県の貴重な伝統文化の継承について、関係機関と連携し、継承できる仕組みづくりなどの取組に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○「学習者主体の授業」への改善推進事業(再掲)→p. 32	7,227	義務教育課
○「かごしまジュニア検定」などの児童生徒の受検や教員研修での活用の推進	—	〃
○各学校における郷土教育の推進	—	〃
○中学生の職場体験学習の継続的な推進(再掲)→p. 37	—	〃
○食農体験学習の推進	—	〃
○文化財等研修講座	74	文化財課
○かごしま無形民俗文化財(民俗芸能)伝承活動表彰(再掲)→p. 88	—	〃
○学校等における文化財伝承活動情報提供事業(再掲)→p. 88	—	〃
○ジョイJOYじょうもん事業(再掲)→p. 88	1,500	〃
○学ぼう郷土の自然! 移動博物館事業(再掲)→p. 88	1,163	〃
○南の縄文文化魅力発信事業(一部再掲)→p. 88	246	〃
○発掘調査中の遺跡の公開(再掲)→p. 88	—	〃
○鹿児島をまるごと味わう学校給食(再掲)→p. 26	—	43市町村 保健体育課
○子ども会、青年団、PTA、公民館活動等における郷土教育への支援	—	社会教育課
○青少年社会教育施設における郷土教育の推進	—	〃
○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業 (再掲)→p. 74	827	〃
○郷土教育推進事業	12,356	
▶ 鹿児島県の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」		社会教育課
▶ かごしま青年塾運営事業		〃
▶ 地域を担う次世代人材育成プロジェクト		高校教育課
▶ かごしまの産学連携プログラム「アカデミック・インターンシップ」推進事業		〃
▶ 「かごしまの文化財を見る、聞く、ふれる」事業		文化財課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66	7講座77人	8,564 義務教育課
○かごしま地域伝統芸能ミュージアム(再掲)→p. 87	—	※文化振興課
○かごしま文化芸術活動促進事業(再掲)→p. 86	1,025	〃
○ほこらしや奄美音楽祭開催事業(再掲)→p. 87	5,924	〃
○「鹿児島県方言週間」普及啓発事業(再掲)→p. 87	—	〃
○「県民の日7.14」記念事業(再掲)→p. 87	802	〃
○「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業(一部再掲) →p. 88	2,123	※世界文化遺産室
施策予算額計	41,831	

【主な事業】

○ 郷土教育推進事業（12,356千円）

将来鹿児島に住み郷土の発展を支えようとする人材を育成するため、鹿児島の歴史、伝統、文化、産業、地域の特性等を理解し、ふるさとに誇りを持つことができるよう、郷土教育の充実を図る。

- ▶ 鹿児島の未来を担う青少年の志を育む事業
「かごしま 夢 有為塾」
- ▶ かごしま青年塾運営事業
- ▶ 地域を担う次世代人材育成プロジェクト
- ▶ かごしまの産学連携プログラム「アカデミック・インターンシップ」推進事業
- ▶ 「かごしまの文化財を見る、聞く、ふれる」事業



○ 各学校における郷土教育の推進

郷土鹿児島に誇りをもち、鹿児島の魅力を語れる児童生徒を育てるために、郷土の素材を生かして郷土理解を深めさせる体験的な学習の促進、教職員の研修の充実、関係機関と連携した伝統文化の継承など、郷土教育の推進を図る。

- ▶ 郷土素材の収集や教材開発、校内研修の充実
- ▶ 「かごしまの心」「続 郷土の先人『不屈の心』」等の活用
- ▶ 「かごしまジュニア検定」の推進



⑥ 郷土教育の推進 (義務教育課・高校教育課・保健体育課・社会教育課・文化財課・文化振興課・世界文化遺産室)

【令和8年度予算額 41,831千円】

伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する
態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間の育成

学校における郷土活動

- 各学校における郷土教育の推進
- 「かごしまタイムトラベル」の活用
- 「かごしまジュニア検定」の活用
- 「かごしまの心」「続 郷土の先人『不屈の心』」等の活用
- 職場体験学習の継続的な推進
- 食農体験学習の推進
- 「学習者主体の授業」への改善推進事業
- 県総合教育センター研修事業（短期）
- 「県民の日」における郷土教育の取組
- 鹿児島島の自然や文化財についての出前授業等の実施

地域社会における郷土活動

- 子ども会、青年団、PTA、公民館活動等における郷土教育への支援
- 青少年社会教育施設における郷土教育の推進
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 鹿児島島の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」
- かごしま青年塾運営事業
- かごしま無形民俗文化財（民俗芸能）伝承活動表彰
- 学校等における文化財伝承活動情報提供事業
- ジョイJOYじょうもん事業
- 学ぼう郷土の自然！移動博物館事業
- 「調べよう！郷土の自然 ジュニア学芸員養成講座」事業
- 南の縄文文化魅力発信事業における学校での「授業支援」
- 発掘調査中の遺跡の公開
- 鹿児島島をまるごと味わう学校給食

地域や関係機関との連携

郷土を学ぶ

郷土で学ぶ

施策の方向性

鹿児島島の魅力と語る人材の育成

伝統的な地域の教育力の活用

郷土教育に関する教職員の資質向上

伝統文化の継承に関する関係機関との連携

⑦ 教育の情報化の推進

- 教科指導等におけるICTの効果的な活用により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うとともに、情報や情報技術を主体的に選択し活用していく力や情報技術を手段として効果的に活用していく力の育成に努めます。
- 生成AI等、技術の発達により新たな情報技術が生み出され、今後も急速に情報社会が発展していくことから、それらを効果的に活用することに加え、情報や情報技術を適切かつ安全に活用していくために必要な、人権の尊重や危険回避、健康との関わりなどの理解と態度を育成する情報モラル教育の充実を図ります。
- 離島や小規模校等が多いことも踏まえ、遠隔教育システムを効果的に活用した授業実践の充実に努めます。
- 小・中・高校の発達の段階を踏まえたプログラミング教育や教科「情報」の指導の充実に努めます。
- 教育データ等の効果的な活用により、個別に最適化されたきめ細かな指導を目指すとともに、校務における活用を含めてICTを積極的に活用した学校の事例の情報発信に努めます。
- 国のICT環境の整備方針等に基づき、学校におけるICT環境整備の推進に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○教育DX推進事業	20,057	教育DX推進室
○ICT教育推進・人材育成事業	27,482	〃
○魅力ある県立高校づくり推進事業(再掲)→p.62	2,833	高校教育課
○高等学校DX加速化推進事業	221,922	教育DX推進室
○情報教育研修推進事業(高等学校等情報教育継続研修)1年間20日5人	483	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p.66 31講座 633人 ▶ 情報教育(情報モラル)、GIGAスクール構想の推進、校務の情報化	8,564	義務教育課
○県立高校パソコン整備事業	121,478	教育DX推進室
【新】県立高校ICT環境整備事業	145,695	〃
○県立学校校務用パソコン等整備事業	332,137	〃
○統合型校務支援システム維持管理事業	12,209	〃
○特別支援学校学習支援ICT活用事業	32,206	〃
○特別支援学校パソコン整備事業	4,000	〃
○特別支援学校指導者用コンピュータ配備事業	22,081	〃
○鹿児島県公立学校情報機器等整備費補助事業	1,061,380	〃
施策予算額計	2,012,527	

【主な事業】

- **教育DX推進事業** (20,057千円)
本県の教育の情報化を推進するため、推進連絡協議会を開催するとともに、GIGAスクール運営支援チームを設置し、学校ICTの専門家等による学校や市町村教育委員会への指導・支援等を行う。



【かごしま「教育の情報化」フォーラム】

- 【新】 県立高校ICT環境整備事業** (145,695千円)
県立高校において、生徒の個に応じた学習効果を高める観点から、生徒が自分に合った学習者用タブレット端末を選択の上、自ら管理し学校や家庭で利用できるよう、端末の購入が困難な生徒に対して、購入に要する経費の補助を行う。



【県立学校情報セキュリティ担当者及びICT活用推進担当者研修会】

- **鹿児島県公立学校情報機器等整備費補助事業** (1,061,380千円)
鹿児島県公立学校情報機器整備基金を活用し、義務教育段階の公立学校における情報機器の更新等を円滑に行うため、共同調達等に係る会議体を設置し、学習者用端末の整備を行うとともに、市町村が行う整備の補助を行う。



【学習者端末を活用した学びの様子】

情報活用能力を駆使し、他者と協働して
主体的に課題を解決する児童生徒の育成

児童生徒の情報活用能力向上

- 教育DX推進事業
- ICT教育推進・人材育成事業
- 魅力ある県立高校づくり推進事業
- 高等学校DX加速化推進事業
- 特別支援学校学習支援ICT活用事業

校務DXの推進

- 県立高校パソコン整備事業
- 特別支援学校パソコン整備事業
- 県立高校ICT環境整備事業
- 県立学校校務用パソコン等整備事業
- 統合型校務支援システム維持管理事業
- 特別支援学校学習支援ICT活用事業
- 特別支援学校指導者用コンピュータ配備事業
- 鹿児島県公立学校情報機器等整備費補助事業

教職員の資質向上

- 教育DX推進事業
- ICT教育推進・人材育成事業
- 情報教育研修推進事業
（高等学校等情報教育継続研修）
- 県総合教育センター研修事業
 - ・情報教育（情報モラル）
 - ・GIGAスクール構想の推進
 - ・校務の情報化

関係する法律及び計画等

鹿児島県

- 第4期鹿児島県教育振興基本計画
(R6.2)
- 未来を創る鹿児島「教育の情報化」
推進プラン Ver.2.0 (R8.3)

文部科学省

- 学校教育の情報化の推進に関する法律(R元.6)
- 学校教育情報化推進計画(R4.12)
- 次世代校務DXガイドブック(R7.3)
- 初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン2.0(R6.12)

⑧ 国際理解教育の充実

- 小中学校においては、ALT等と実際の生活場面に即したコミュニケーション等を体験することで、外国語に楽しく慣れ親しみ、海外についての興味・関心を高めていくことができるように努めます。
- 各学校段階において、これからの国際社会において自ら思考し判断し、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことができる児童生徒の育成に努めます。
- グローバル化に対応した英語教育の充実を図るため、国の動向を踏まえ、学習指導要領の着実な実施など、計画的な取組を推進します。
- 日本や外国の言語や文化を理解し、日本や鹿児島への愛着や誇りを持ちつつ、グローバルな視野で活躍するための資質・能力をもった児童生徒の育成に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○「学習者主体の授業」への改善推進事業(再掲)→p. 32	7,227	義務教育課
○世界で輝け! 英語コミュニケーション能力育成事業	2,486	〃
○世界をつなぐ英語コミュニケーション能力育成事業	2,283	高校教育課
○教室から世界へ! かがしまグローバルクラスルーム事業	19,544	高校・義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 12講座 231人	8,564	義務教育課
○ALT活用推進事業	217,818	高校教育課
○グローバル人材育成促進事業	4,800	〃
○鹿児島県青少年海外ふれあい事業	2,579	※青少年男女 共同参画課
○薩摩スチューデント派遣事業	4,192	※国際交流課
施策予算額計	269,493	

【主な事業】

- 世界で輝け! 英語コミュニケーション能力育成事業

(2,486千円)

小中学生の英語コミュニケーション能力の育成を図り、グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、英語によるコミュニケーションを体験するイングリッシュ・デイなどを実施する。

▶ Let's Enjoy English Day



- 世界をつなぐ英語コミュニケーション能力育成事業

(2,283千円)

英語コミュニケーション能力の育成を図り、グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、英語によるコミュニケーションを体験する高校生イングリッシュトレーニングキャンプ等を実施する。

▶ English Café in Kagoshima

▶ 高校生イングリッシュトレーニングキャンプ



- 教室から世界へ! かがしまグローバルクラスルーム事業

(19,544千円)

語学力の向上と国際意識の醸成を図るため、海外の学校と年間を通じてオンラインで交流するとともに、交流先の学校等へ生徒を派遣する。

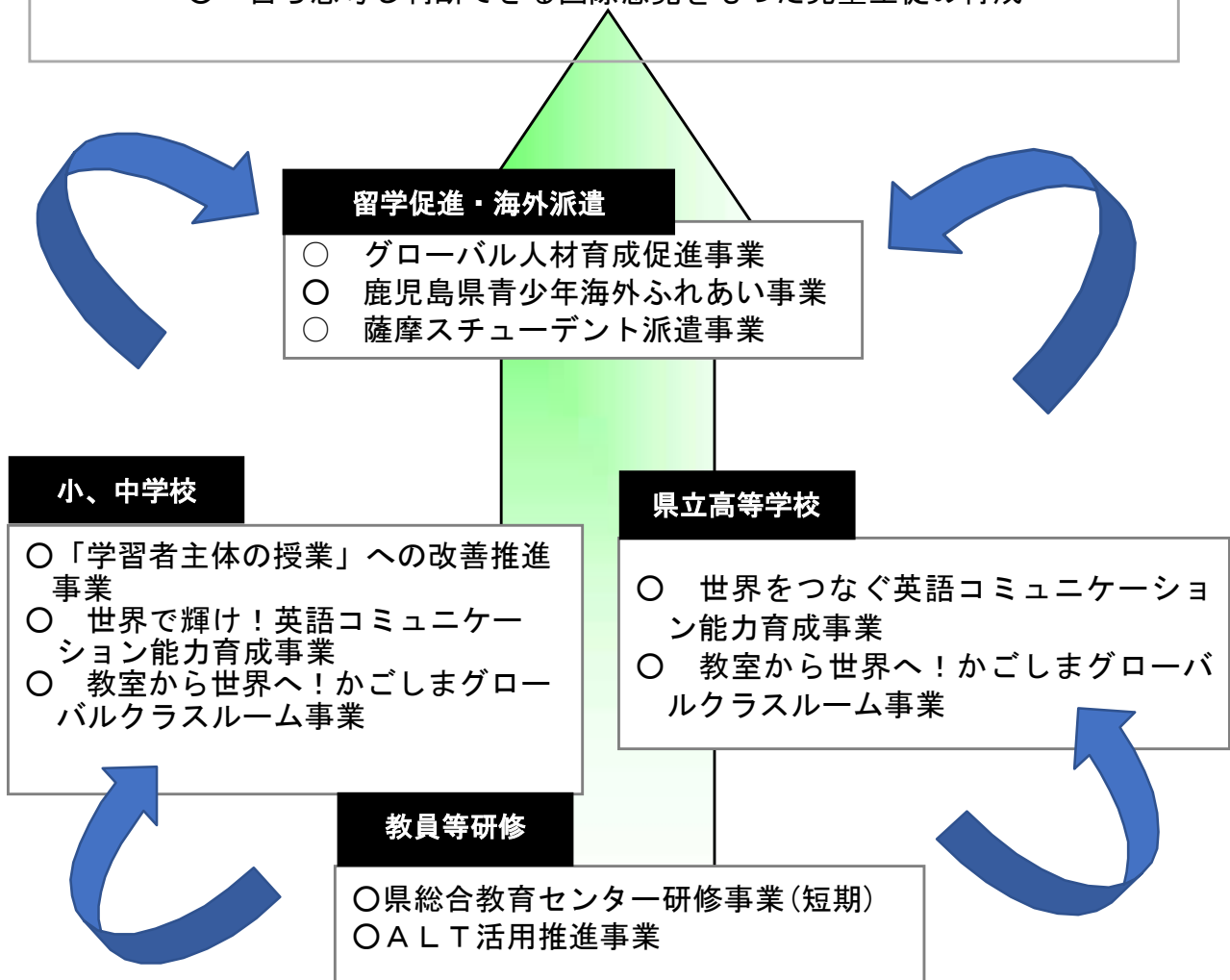


⑧ 国際理解教育の充実（高校教育課・義務教育課・青少年男女共同参画課・国際交流課）

【令和8年度予算額 269,493千円】

国際理解教育の充実

- 自ら思考し判断できる国際感覚をもった児童生徒の育成



- 各学校段階において、これからの国際社会において自ら思考し判断し、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくことができる国際感覚をもった児童生徒の育成に努めます。
- グローバル化に対応した英語教育の充実を図るため、国の動向を踏まえ、学習指導要領の着実な実施など、計画的な取組を推進します。
- 日本や外国の言語や文化を理解し、日本や鹿児島への愛着や誇りを持ちつつ、グローバルな視野で活躍するための資質・能力をもった児童生徒の育成に努めます。

⑨ 消費者教育の充実

- 児童生徒が自立した消費者として健全な消費生活を送ることができるようになるために、学校教育段階において学習指導要領に基づき消費者教育の充実に努めます。
- これからの変化の激しい社会において、自ら思考し判断することのできる金銭・金融感覚を持った児童生徒の育成を図ります。
- 成年年齢の引き下げに対応した契約の重要性や、消費者保護に関する指導の充実に努めます。
- 情報機器等を利用した架空請求など、多様化する問題に対応する能力を育成します。
- 外部の関係機関等と連携して、より実践的な指導の充実に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○金融経済教育研究校による実践研究の推進	—	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 ▶消費生活についての学習指導の工夫に関する講座 2講座 20人	8,564	〃
○外部講師による消費者教育教室など、より実社会に対応した消費者教育の充実	—	高校教育課
○社会教育指導者養成事業(再掲)→p. 74 ▶消費生活に関する研修や情報の提供	443	社会教育課
○消費者教育・啓発	3,779	※消費者行政推進室
施策予算額計	12,786	

【主な事業】

- **金融経済教育研究校による実践研究の推進**
2年間の研究指定を受けた金融経済教育研究校において、実践的な研究を行うとともに、その研究成果の普及を図る。
▶金融経済教育研究校での実践研究
▶金融経済教育協議会での成果報告(2月)



- **消費者教育・啓発 (3,779千円)**
消費生活に関する啓発広報や情報提供、講座の開催等を行うことにより、消費者トラブルの未然防止を図る。
▶トラブル事例や相談窓口に関する啓発広報事業の実施(若年者向け消費者啓発動画の配信等)
▶くらしの情報紙「マイライフかごしま」の発行(8・1月の計2回、各5千部発行し、全市町村、消費者関係団体、一般県民等に配布)
▶若年者対象消費生活講座の開催(学校や市町村等からの要請に応じ消費生活に関する啓発講座を開催)



⑨ 消費者教育の充実（高校教育課・義務教育課・社会教育課・消費者行政推進室）

【令和8年度予算額 12,786千円】

消費者教育の充実

児童生徒が自立した消費者として健全な消費生活を送ることができる。



学 校

連携

関係機関

- これからの変化の激しい社会において、自ら思考し判断することのできる金銭・金融感覚を持った児童生徒の育成
- 成年年齢の引き下げに対応した契約の重要性や、消費者保護に関する指導の充実
- 情報機器等を利用した架空請求など、多様化する問題に対応する能力を育成
- 外部の関係機関等と連携して、より実践的な指導の充実
 - ・ 金融経済教育研究校による実践研究の推進
 - ・ 県総合教育センター研修事業(短期)
 - ▶ 消費生活についての学習指導の工夫に関する講座
 - ・ 外部講師による消費者教育教室など、より実社会に対応した消費者教育の充実
 - ・ 社会教育指導者養成事業
 - ▶ 消費生活に関する研修や情報の提供
 - ・ 消費者教育・啓発

⑩ 主権者教育

- 主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担うことができる力を発達の段階等に応じて身につけさせます。
- 地域課題に関する学習、租税や財政の学習、法に関する学習などについて、小・中・高等学校等において学習指導要領に基づき主権者教育の充実に努めます。
- 政治的中立性の確保に留意しながら、国家及び社会の責任ある形成者となるための政治的教養を高める教育の充実に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○外部講師による選挙の出前授業など、体験的な主権者教育の充実	—	高校教育課
○未来を創る資質・能力育成事業 (再掲)→p. 32	7,539	〃
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 9講座 120人	8,564	義務教育課
施策予算額計	16,103	

【主な事業】

○ 未来を創る資質・能力育成事業

(7,539千円)

令和の教育改革の理念に基づき、社会の変化を乗り越え、未来の社会の創り手となる生徒の資質・能力の確実な育成を目指す。研究指定校や研究推進員と授業改善の研究、科学技術コンソーシアムの創設と構築、高校生探究コンテスト開催をとおして、教員の指導力や総合的な探究の時間の質の向上を推進する。

- ▶ 学びの深化プログラム
- ▶ 探究の真価プログラム



主権者教育の充実

- 平和的で民主的な国家・社会の形成に主体的に参画する主権者の育成

知識・技能

- 現実社会の諸課題（政治、経済、法など）に関する現状や制度及び概念についての理解
- 調査や諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能

思考力・判断力・表現力

- 現実社会の諸課題について、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力
- 現実社会の諸課題の解決に向けて、協働的に追究し根拠をもって主張するなどして合意を形成する力

学びに向かう力・人間性等

- 自立した主体として、よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に主体的に参画しようとする力

課題学習

外部機関との連携

地域課題

- 平和的で民主的な国家・社会の形成に主体的に参画する主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担うことができる力を発達の段階等に応じて身につかせます。
- 地域課題に関する学習、租税や財政の学習、法に関する学習などについて、小・中・高等学校等において学習指導要領に基づき主権者教育の充実に努めます。
- 政治的中立性の確保に留意しながら、国家及び社会の責任ある形成者となるための政治的教養を高める教育の充実に努めます。
 - ・ 外部講師による選挙の出前授業など、体験的な主権者教育の充実
 - ・ 未来を創る資質・能力育成事業
 - ・ 県総合教育センター研修事業(短期)

⑪ 社会の変化に対応した教育の推進

(7) 環境教育

- 持続可能な社会の担い手の育成及びウェルビーイングの向上を図るため、学習指導要領に基づき各教科等の学習と体験的な活動を関連付けて、教科等横断的な環境教育を進めます。
- 「鹿児島県環境教育等行動計画」に基づき、学校と地域の人材や関係団体等との連携・協働を図り、地域の特性を生かした自然体験活動の取組を推進します。
- 地域の自然体験活動を通して生物多様性や外来種等への理解を深め、自然保護や環境保全への意識を高める学習を一層推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○各学校における総合的な学習の時間や総合的な探究の時間、特別活動における教育活動の推進	—	義務・高校教育課
○地域の環境保全への参加意識を育てる環境美化活動の充実	—	義務教育課
○環境教育を推進するための核となる人材の育成	—	〃
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 1講座 11人	8,564	〃
施策予算額計	8,564	

【主な事業】

- 各学校における総合的な学習の時間や総合的な探究の時間、特別活動における教育活動の推進
リサイクル、ごみの分別など学校生活における活動等、環境保全活動や環境教育の充実を図る。
▶地域の環境保全活動への参加意識を育てる環境美化活動の充実
▶世界自然遺産の屋久島、奄美大島、徳之島など、世界に誇る身近な地域の自然について理解を深める体験的な学習の充実

(4) 福祉教育・ボランティア活動

- 児童生徒の発達段階を踏まえた、「福祉の心」を育てる教育の充実に努めます。
- 関係機関等との連携を深め、福祉やボランティアに関する体験的な活動の充実に努めます。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○各学校における総合的な学習の時間や総合的な探究の時間、特別活動における教育活動の推進	—	義務・高校教育課
○道徳教育総合支援事業(再掲)→p. 14 ▶心の教育振興会議 ▶地区道徳教育研修会 ▶道徳教育実践地区による取組 ▶「不屈の心」「かごしまの心」等、郷土教材の活用 ▶道徳教育フォーラム	8,933	義務教育課
○県総合教育センター研修事業(短期)(再掲)→p. 66 ▶福祉教育・ボランティア活動に関する講座 2講座 20人	8,564	〃
○県立図書館高校生ボランティア養成講座 ▶図書館の事務に関する基本的な知識・技能についての研修	—	社会教育課
○社会教育施設の主催事業におけるボランティア体験の場の提供	—	〃
施策予算額計	17,497	

【主な事業】

- 各学校における総合的な学習の時間や総合的な探究の時間、特別活動における教育活動の推進
児童生徒の発達の段階を踏まえた「福祉の心」を育てる教育や福祉・ボランティアに関する体験活動の充実を図る。
▶乳幼児・高齢者・障害者に対する思いやりの心などを醸成する道徳教育の推進
▶各学校で実施される福祉・ボランティアに関する体験活動の充実

⑪ 社会の変化に対応した教育の推進（義務教育課・高校教育課・社会教育課）

【令和8年度予算額 17,497千円】

※(7)～(4)の重複事業の予算を除く

社会の変化に対応した教育の推進

- 社会の変化に柔軟に対応するための創造力の育成
- 問題を自らの力で解決していこうとする主体的な態度の育成

環境教育

- 持続可能な社会の担い手の育成及びウェルビーイングの向上を図るため、学習指導要領に基づき各教科等の学習と体験的な活動を関連付けた教科等横断的な環境教育の推進
- 「鹿児島県環境教育等行動計画」に基づき、学校と地域の人材や関係団体等との連携・協働を図り、地域の特性を生かした自然体験活動の取組の推進
- 地域の自然体験活動を通じた生物多様性や外来種等への理解及び自然保護や環境保全への意識の向上
 - ・ 環境美化活動の充実
 - ・ 県総合教育センター研修事業

福祉教育・ボランティア活動

- 「福祉の心」を育てる教育の充実
- 福祉やボランティアに関する体験的な活動の充実
 - ・ 道徳教育総合推進事業
 - ・ 県総合教育センター研修事業
 - ・ 県立図書館高校生ボランティア養成講座
 - ・ 社会教育施設の主催行事におけるボランティア体験
- 社会科、家庭科、総合的学習（探究）の時間等での学習
 - ・ 福祉施設の訪問活動
 - ・ 地域の高齢者との交流活動
 - ・ 車椅子体験
 - ・ 乳幼児との交流等 など
- 青少年赤十字活動

学 校

連 携

関係機関